

「看護の専門性を強化・結集し、
多様化する社会の期待に応えます。」

世界に類を見ない超少子高齢化社会を迎え、医療・看護を取り巻く環境は激変しています。

患者や県民に最も身近で、最も長い時間見守っている看護職が、保健・医療・福祉・介護のすべての分野において、専門性と看護の価値観に基づいた力を発揮し、安全・安心・納得の医療サービスを提供していかなければなりません。

そのためには、様々な改革に各職能が力を発揮するとともに、生活者として働き続けられる環境を整え、ワーク・ライフ・バランスの実現を図ることが重要です。

公益社団法人への移行に向けて、看護の質の向上と、安心して働き続けられる環境づくり、そして、看護領域の開発・展開を図ることを使命（案）として掲げました。その実現に向けて、看護の専門性を変革に向けて強化・結集して、自律的に行動し、安全・安心・納得の保健・医療・介護・福祉サービスの提供を目指して取り組み、多様化する社会の期待に応えます。

同時に、人々から信頼される職能団体として社会的な認知を頂けるよう、組織の強化を図り、看護職一人ひとりが質の向上に向けた活動を展開し、看護の力を発揮して、人々の健康な生活を支えます。